



ホットニュース

海音寺潮五郎記念文化講演会



海音寺潮五郎は、鹿児島県伊佐郡大口村(現・伊佐市)に生まれ、歴史小説を多く執筆しました。1936年(昭和11年)に『天正女合戦』および『武道伝来記』にて、第3回直木賞を受賞しました。『平将門』、『天と地と』、『西郷と大久保』等、史伝文学の復興に対する功績が高く評価されています。

当館一般閲覧室には「海音寺潮五郎コーナー」を設置し、当時の書斎(実際使っていた文机等)や作品の執筆のために使われた資料、写真等を常設展示しています。

また、県立図書館では、海音寺潮五郎の功績を称え、毎年、文化講演会を開催しています。令和5年度の講師には、『漂砂のうたう』にて第144回直木賞を受賞した

木内 昇(きうち のぼり)氏をお招きし、海音寺作品を霧島市立国分中央高等学校放送部員が朗読します。

日時: 令和5年12月16日(土) 13:30~

場所: かがしま県民交流センター 県民ホール

定員: 300人 入場は無料ですが、事前の申込みが必要です。チラシ、HP等でお知らせいたします。

図書館で探そう、調べよう! 100という本は、ありますか?

図書館で多い質問の一つが「○○という本はありますか?」という所蔵の確認です。

「女流日記文学の『うたたね日記』のうち、島谷景二氏が書いた本がありますか」というお尋ねがありました。そこで、まずは「うたたね日記」と「島谷景二」のキーワードなどで所蔵検索を行いました。当館には所蔵がないという結果でした。

次にwebサイト国立国会図書館サーチで検索しました。ここでは、「当館以外に持っている図書館がないか」と「本の情報に間違いがないか」ということを確認することができます。検索の結果、雑誌「国文学: 解釈と鑑賞」(至文堂)の「『うたたね』—感動的な少女の日記」という「島内景二」氏の記事が見つかり、当館にも所蔵していることが確認できました。質問者に確認すると、「島内景二」が正しいが、探している本は最近出た本とのこと。雑誌は1997年発行なので、該当しません。

正確な著者名が判明したので、再度「著者名のみ」で所蔵検索を行ったところ、『新訳うたたね』(島内景二/著、花鳥社)という本があることがわかり、提供することができました。

このように、所蔵確認のお問合わせには、自館の検索機能以外も活用して資料を提供しています。特に、国立国会図書館サーチは、目次の内容なども登録されているため、大変重宝する検索システムです。

さて、お探しの本は見つかりましたが、併せて先の雑誌をお伝えすると、「ぜひ読みたい」とのこと。すぐにたどり着けず、お待たせしてしまいましたが、「思わぬ収穫があった。」と喜んでいただけた一件でした。

《一般図書》10月13日(金) **新着図書案内** 《児童図書》10月22日(日)

- カウンセラーはこんなセルフケアをやってきた 伊藤 絵美/著 晶文社
- 外来種は悪じゃない 伊地知 英信/著 草思社
- 向井と裏方 TOKYO FM「向井と裏方」制作班/編 河出書房新社
- 日本語はしたたかでお奥が深い 河路 由佳/著 研究社
- だいたい夫が先に死ぬ 高橋 源一郎/著 毎日新聞出版
- ホットドッグ ダグ・サラティ/作・絵 矢野 顕子/訳 Gakken
- かがくのふしぎ100 川村 康文, 小林 尚美/著 世界文化社
- となりのAI 佐々木 ひとみ/著 Z会
- 美しい実験図鑑 さとう かよこ/著 新星出版社
- いつものところで 中澤 晶子/作 ささめや ゆき/絵 汐文社

催し物の御案内

- **宝本エピソード展**
10月26日(木)~11月19日(日)
当館玄関ホール
- **鹿児島県図書館大会**
11月15日(水)
かごしま県民交流センター
- **一般閲覧室ミニ展示**
いよいよ! かがしま国体・かがしま大会
実施競技や会場の市町村の本など、観戦がより楽しめる資料を紹介します。
- **児童文化室ミニ展示**
みんなにやさしい本
みんなが楽しめるように作られた本を集めました。バリアフリーについて考えてみませんか。

図書館職員のつばやき

今年の3月に、図書館敷地を含む鹿児島城跡が、国指定史跡に指定されました。黎明館の敷地には本丸、図書館から博物館にいたる間は二の丸がありました。二の丸というのは、本丸に対する一般的な呼び方で、藩主の世子や隠居の居宅などがありました。鹿児島城は初代薩摩藩主島津家久が1601年頃から築城を始め、1615年頃にほぼ完成したとされています。その後、明治の初めまでの270年余り、島津家の居城として、薩摩藩の政治の中心でした。

このような歴史のある土地に建てられた図書館の建物と造園の基本設計は、国立博物館や国立近代美術館等を手掛けた実績のある設計士によるものです。隣接する黎明館と図書館を一体として、周辺の環境と調和したものとなるよう配慮されました。

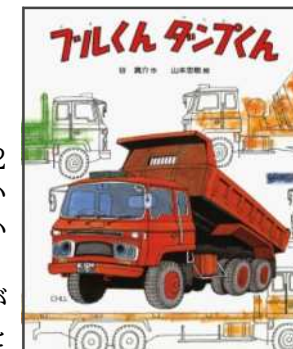
図書館を御利用の際は、歴史のある石垣や調和の取れた緑も楽しみいただければと思います。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、谷 真介/文、山本忠敬/絵の『ブルくんダンプくん』(偕成社)です。

父が2さい2ヶ月の時に買ってもらい、そ母が大事にとっておいた本です。ぼくが2さいになったときに、そ母がこの本を読んでくれました。トラックやブルドーザーがいろいろな車にへんしんするところがおもしろいです。そ母が「おうちに持って帰っていいよ」と言ったので、今は家で大切に読んでいます。ぼくのたから物です。

【家族からひと言】お父さんはブルくんが砂を押す場面が好きだったよ。おとうさんが小さい頃に読んでいた絵本をあなたが読んでるのはとてもうれしいです。この本を大切にしておいて、いつかあなたの子供たちといっしょにこの本を読みたいな。



図書館クイズ

にじいろのほん『ちいさいモモちゃん』
松谷みよ子/著・菊池貞雄/絵(講談社)からのクイズです。

モモちゃんが いいものを かってもらいました。まっかな かさと まっかな なにかな?
①かばん ②おはな ③ながぐつ

ヒント
あめのひに つかうよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、11月14日(火)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。前回の答えは「② みどりいろ」でした。
たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
10月	15	16	17	18★	19	20	21◆
	22	23	24	25★	26	27	28
	29	30	31	1★	2	3	4
11月	5	6	7	8★	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18◆
	19	20	21	22	23	24	25

- 開館時間 火曜日~土曜: 9時~21時
日曜日・祝日(白抜): 9時~17時
 - は、休館日
 - は、学習室のみ開室(9時~17時)
 - ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分~16時)
 - ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時~)
 - ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(10月31日、11月10日予定)
 - は、児童文化室新着図書の日(10月22日)
- ※児童文化室の11月は、新着受入はありません。